

# がんを防ごう

## 最新の薬物療法 医師が実例紹介

オール室蘭でがん対策を進める「室蘭がんフォーラム」の会合が20日、室蘭市保健センター(東町)で開かれた。製鉄記念室蘭病院の前田征洋院長が「進化す



最新のがん薬物療法について解説する前田院長

るがん薬物療法について」と題して講演し、参加者は最新の抗がん剤について理解を深めた。

市や市医師会、医療機関、患者団体、マスコミから21人が出席。講演では抗がん剤の効果的な組み合わせや、放射線治療と併用するなど薬物療法の進歩について説明した。他の臓器に転移してステージが最も進んだ「4期」でも、最新の薬物療法でがんを縮小させ、手術できるようになった実例も紹介。前田院長は「化学療法の進歩で、がんの転移は必ずしも絶望ではない」と強調した。

副作用の嘔吐感を持続的に軽減させる吐き気止めや、正常な細胞を傷つけずにがん細胞のみを攻撃する分子標的薬、免疫の働きを活性化させがん細胞への攻撃を促す免疫療法についても取り上げた。

(須田幹生)